

## 平成26年度 社会福祉法人燕市社会福祉協議会事業報告

### ◆重点事項の概要

平成27年5月の法人本部移転に向けて、燕市担当課との調整を図るとともに、支所機能の維持を含めて本会組織の充実に努めた。併せて、法人本部移転を広く市民及び関係機関等に周知した。

平成25年度から計画期間を5年間とする民間計画である『第2次燕市地域福祉活動計画“燕ささえあいプラン”』の2年目として、行政計画である「第2次燕市地域福祉計画」との一体的な取り組みを行った。本年度は特に、地域支え合い活動の体制づくりと課題解決の推進役として本会にCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を4名配置し、市内4つのエリアで先駆的に様々な地域活動を展開した。成果として、4つのエリアに「支え合い活動推進委員会」が組織され、どのような困りごとでも気軽に相談ができる地区の相談所の開設が進められた。この相談所に寄せられる軽微な困りごとは、住民同士の支え合い活動で解決し、困難ケースは、CSWがコーディネーターとなり解決に向けた支援チーム体制を整えた。

また、本会においては、高齢・障害の各事業所職員と地域福祉を推進する職員との内部連携意識の浸透を図り、適宜困難ケースに対応する連携会議の開催や行政並びに他職種との連携体制の形成を心掛けた。

燕市障がい者地域生活支援センター「はばたき」では、新たな視点を取り入れて学童期児童を対象とする放課後等デイサービス事業での療育効果を向上させるため、作業療法士との業務委託の準備を進めたほか、相談支援事業並びに地域活動支援センターの機能向上に努めた。

このほか、燕市の受託事業として運営している「デマンド交通おでかけきららん号」予約センターのサービス向上に努めた。

### ◆基本方針項目

1. 法人組織の強化	2. 安定した事業財源の確保	3. 施設の管理運営	4. 地域を支える人づくり
5. 一人ひとりの自立生活を支えるシステムづくり	6. 福祉サービスの利用支援・権利擁護	7. 在宅福祉サービスの充実	8. 災害支援

### ◆事業実施状況詳細

#### 1. 法人組織の強化

##### ■企画・調整機能の強化

##### (1)法人本部事務所移転プロジェクト

平成27年5月7日の旧燕市役所吉田庁舎への移転に伴う組織体制の見直し、再編および必要備品の整備等を行った。

法人本部事務所移転プロジェクト会議	管理会議後
燕市との協議(企画財政課、営繕建築課、総務課情報企画係等)	8回(5/22、7/1、8/4、10/8、10/31、11/13、12/25、3/10)
備品整備等入札	2/25

##### (2)事業評価システムの実施

第2次燕市地域福祉活動計画の評価を行った。

##### (3)第2次燕市地域福祉活動計画の実践・評価 ※評価結果は別紙参照。

第2次燕市地域福祉活動計画の実践2年目の本年度は、行政計画である『燕市地域福祉計画』との整合性を保ちながら取り組みを進めた。

昨年度に引き続き取り組みについては日本地域福祉研究所・所属理事 金井敏氏(高崎健康福祉大学教授)よりご指導いただいた。

また、第2次燕市地域福祉活動計画評価委員会を開催し、年度ごとの進捗状況の把握とともに、実践内容についての評価、検証を行った。

金井教授コンサルテーション	4回(6/27、9/10、12/5、2/9)
地域福祉活動報告会	4回(6/27、9/10、12/5、2/9)
第2次燕市地域福祉活動計画評価委員会	2回(10/9、2/9)

■会務・事務局機能の充実・強化

(1)理事会・評議員会・監査会等の開催状況

26. 4. 1	第1回理事会(老人集会センター) 出席理事16名 監事2名 第1号議案 会長及び副会長の互選について 第2号議案 会長職務代理者の指名の承認について 第3号議案 常務理事の指名の承認について
26. 5. 16	平成25年度決算監査(本所多目的室) 出席監事2名 1. 平成25年度事業報告 2. 平成25年度一般会計及び特別会計資金収支計算書 3. 平成25年度諸帳簿の確認
26. 5. 26	第2回理事会(老人集会センター) 出席理事13名 監事2名 第1号議案 平成25年度事業報告並びに決算報告について 第2号議案 評議員欠員に伴う補充選任について
26. 5. 26	第1回評議員会(老人集会センター) 出席評議員26名 第1号議案 平成25年度事業報告並びに決算報告について
26. 12. 2	平成26年度上半期監査(本所多目的室) 出席監事2名 1. 平成26年度上半期事業報告 2. 平成26年度上半期資金収支計算書
26. 12. 22	第3回理事会(老人集会センター) 出席理事13名 監事1名 第1号議案 平成26年度上半期事業報告並びに決算報告について 第2号議案 平成26年度第一次資金収支補正予算について
26. 12. 22	第2回評議員会(老人集会センター) 出席評議員27名 第1号議案 平成26年度上半期事業報告並びに決算報告について 第2号議案 平成26年度第一次資金収支補正予算について
27. 3. 26	第4回理事会(老人集会センター) 出席理事12名 監事2名 第1号議案 平成26年度第二次資金収支補正予算について 第2号議案 平成27年度事業計画並びに予算について 第3号議案 法人本部移転に伴う基本財産処分について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 任期満了に伴う評議員改選について 第6号議案 規程の一部改正等について 第7号議案 事務局長の任免について
27. 3. 26	第3回評議員会(老人集会センター) 出席評議員28名 第1号議案 平成26年度第二次資金収支補正予算について 第2号議案 平成27年度事業計画並びに予算について 第3号議案 法人本部移転に伴う基本財産処分について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 理事欠員に伴う補充選任について
法人経営会議	月1回(4/7、5/2、6/2、7/7、8/4、9/2、10/3、11/10、12/1、1/6、2/2、3/2)
管理会議	月1回(4/2・30、5/28、7/2・30、8/27、10/1・29、11/26、12/24、1/29、2/25、3/25)
会計月次指導(外部監査:つばさ税理士法人)	月1回(4/17、5/14、6/23、7/29、8/27、9/19、10/16、11/26、12/24、1/15、2/19、3/24)
社会福祉法人指導監査(燕市)	10/31

(2)部会・委員会の開催状況

「発展・強化計画」及び「地域福祉活動計画」の実践状況を部会等において評価し、目標の達成をめざした。  
また、「第2次地域福祉活動計画」を実践するにあたり、関係する部会・委員会等において検討、協議を行った。

法人運営部会	2回(5/12、12/2)
地域福祉部会	2回(10/9、2/9)
人事考課評価委員会	2回(6/20、12/1)
第2次燕市地域福祉活動計画評価委員会(再掲)	2回(10/9、2/9)
燕市ボランティア・市民活動センター運営委員会	2回(5/27、3/25)
福祉後見・権利擁護センター運営委員会	4回(6/19、9/18、12/11、3/19)
燕市障がい者地域生活支援センター運営委員会	2回(7/1、3/20)
ふれあい喫茶「ほぼ」運営委員会	2回(8/25、1/26)
燕第一地区支え合い活動推進委員会	6回(7/18、8/27、9/25、10/7、11/21、2/27)
燕西地区支え合い活動推進委員会	6回(8/5、10/1・24、11/27、1/14、3/17)
粟生津地区支え合い活動推進委員会 ※粟生津協議会内に設置	4回(11/17、12/19、2/23、3/27)
分水小学校区支え合い活動推進委員会	2回(1/30、3/6)

(3)本所・支所の情報共有システムの強化

情報管理担当者を指名し、共有サーバーやグループウェア等、情報共有システムの有効活用・適正運用を図った。

(4)課・係内会議

定期的に課内会議等を実施し、職員の主体性を促し、積極的に事業に取り組む姿勢を喚起した。

総務課内会議	5回(4/9、5/14、9/3、11/5、2/18)
〃：施設管理係内会議	2回(8/20、2/4)
地域福祉課内会議	4回(4/17、6/11、9/11、2/13)
〃：地域福祉活動担当者定例会	12回(4/15、5/13、6/10・27、8/12、9/10、10/14、11/11、12/5、1/13、2/9、3/10)
〃：ボランティア担当者定例会	11回(4/21、5/19、6/16、7/16、8/11、9/22、10/20、12/15、1/19、2/16、3/16)
介護事業課内会議	4回(5/26、8/25、11/19、2/23)
〃：居宅介護支援係内会議	12回(4/9、5/8、6/9、7/8、8/7、9/8、10/8、11/7、12/8、1/9、2/9、3/9)
〃：在宅福祉サービス係内会議	12回(4/8、5/20、6/10、7/15、8/11、9/2、10/2、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10)
総合相談支援センター定例会	11回(4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/18、1/15、3/19)
燕市障がい者地域生活支援センター：地域活動支援係定例会	12回(4/14、5/26、7/1・28、8/25、9/29、10/27、11/25、12/15、1/26、2/23、3/20)
放課後等デイサービス事業所経営定例会	8回(4/24、5/22、6/26、9/30、10/23、12/9、1/22、2/26)
〃：サービス担当者定例会	17回(4/11、5/14、5/20、6/24、9/9・11、9/18、10/3・14・22、11/11、12/9、1/14・19、2/2・25、3/12)
就労支援センター定例会	12回(4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、11/19、12/18、1/21、2/18、3/18)
相談支援関係職員連携会議	9回(4/15・17、4/21、5/30、7/4・28、8/22、9/30、3/12)

■広報・啓発機能の強化

(1)ホームページの運営・充実

法人のPRや地域福祉事業への理解と参加を促すため、市民が円滑に福祉サービスを利用できるよう最新情報の提供に努めた。(閲覧件数:延べ10,864人)  
また、平成27年4月のリニューアルに向け、ページ構成の検討並びに原稿作成を進めた。

ホームページリニューアル検討会	2回(11/11、12/24)
-----------------	-----------------

(2)社協だより「たっちハート」の発行(第50号～第55号)

広報強化プロジェクトの提言を踏まえ、4月1日号から発行月を偶数月に変更し、表紙、裏表紙をフルカラー、中面を二色刷りにすることで、目に止まりやすい紙面となった。さらに、特集記事を設けることで、福祉の啓発や社協事業の理解促進を図った。

全戸並びに賛助会員・特別会員・まる特会員に配布、本会資産状況、会費・共同募金配分金等を財源とする事業使途の周知を含め福祉情報の提供に努めた。

社会福祉協議会広報研修会(新潟県社会福祉協議会主催)	7/28:職員1名
----------------------------	-----------

(3)パンフレット等の作成

重点取り組みである支え合い活動を推進するため、市民向けの啓発パンフレット「支え合い活動の手引き」を1,000部作成し、福祉懇談会などで説明を行った。また、法人の活動を紹介するパンフレットの作成について検討を重ね、法人本部引越後から活用できるよう準備を進めた。

(4)は～とふるカレンダーの作成

市民から写真を募集し、市民が選んだ6枚の写真をカレンダーに掲載し、年間を通しての社協PRを行った。

は～とふるカレンダー写真コンテスト	10/4:応募数9点
-------------------	------------

(5)社会福祉大会の開催

「人とひとの支え合いにあふれたまちづくり」をテーマとした講演会並びに社会福祉功労者表彰を内容とする社会福祉大会を開催した。

燕市社会福祉大会(講演講師:堀尾正明氏)	10/4:290名
----------------------	-----------

スタッフ(大会開催関係職員)会議	7回(4/22、6/17・25、8/12、9/4、10/1、11/17)
------------------	--------------------------------------

(6)心のバリアフリーの啓発

差別・偏見のない地域社会をめざして幅広い層の市民が参加できる講演会等を企画し、啓発活動を行った。

心のバリアフリー講演会(講師:東條恵氏)	11/9:65名
----------------------	----------

心のバリアフリー啓発活動(講師:樋熊則子氏)	3/1:家族会交流会(12名)、講演会(25名)
------------------------	--------------------------

■役職員の資質向上

(1)役員研修の実施

新潟県社会福祉協議会主催の研修会に参加し、社会福祉の更なる充実の手法について学んだ。

第64回県民福祉大会(妙高市)への参加	10/21～22:17名
---------------------	--------------

(2)人事考課制度の運用

評価の結果を定期昇給・勤勉手当へ反映させた。併せて、目標管理制度を取り入れることにより組織全体の底上げを図った。

人事考課評価委員会(再掲)	2回(6/20、12/1)
---------------	---------------

人事考課(平成25年度 下半期)評価・フィードバック面談	6/23～6/27
------------------------------	-----------

人事考課(平成26年度 上半期)総合評価・フィードバック面談	11/18～12/5
--------------------------------	------------

目標設定(平成26年度)	4/1～4/30
--------------	----------

目標(平成25年度)評価(自己・上司)・面談	6/23～6/27
------------------------	-----------

目標(平成26年度)中間評価(自己・上司)・面談	11/18～12/5
--------------------------	------------

評価者・考課者研修	3回(5/28、6/6、11/18)
-----------	--------------------

(3)会計実務の強化

新会計基準の適用を受け、各課事業担当者において伺い書の作成から予算・実績の管理を行った。また、税理士による会計実務に関する指導を受け、会計処理等の適正化を図った。

新会計システム研修会・操作説明会・記帳説明会	4/4:職員20名、10/16:職員11名
------------------------	-----------------------

会計実務講座	11/5～7:職員1名
--------	-------------

(4)職員内部研修会

外部の専門家を講師に、本会職員としての自覚を深めるとともに資質の向上をめざした。また、新人職員研修会を開催した。

職員内部研修会	3回(4/11、9/19、2/26)
新人職員研修(新潟県社会福祉協議会主催)	4/22～23:職員3名
新人職員研修	4/14:21名(3年未満勤続職員)、12/19:1名(はばたき1年未満勤続職員)

(5)実務職員会議

各部署の実務職員が担当分野について説明を行い、組織の内部連携を図った。

実務職員会議	3回(6/24、10/16、2/19)
--------	---------------------

(6)職員の福利厚生

職員互助会計画事業や福祉厚生センターへの加入を促すとともに、本年度は衛生管理者を配置し、職員が健康で働きやすい職場づくりを進めた。

■その他

(1)社会福祉士相談援助実習の受け入れ

新潟青陵大学生	1名:6/9～25、10/14～30
東北福祉大学生	1名:7/1～8/4
新潟医療福祉大学生	1名:8/18～9/26

(2)視察研修等の受け入れ

新潟県副知事・新潟県社会福祉協議会会長視察	6/12:8名
胎内市・胎内市社会福祉協議会CSW視察研修	10/2:5名
茨城県坂東市社会福祉協議会視察研修	11/13:24名
糸魚川市社会福祉協議会心配ごと相談員研修	11/27:12名

(3)外部各種委員の受任

燕市総合計画審議会委員	燕市情報公開・個人情報保護審査会委員	燕市情報公開・個人情報保護制度審議会委員	燕市防災会議委員
燕市国民保護協議会委員	燕市国民健康保険運営協議会委員	燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員	燕市障がい者自立支援協議会委員
燕市障がい者自立支援協議会運営委員	東日本大震災燕市義援金配分委員会委員	燕警察署特殊詐欺被害防止推進員	燕警察署協議会委員
燕市健康づくり推進委員会委員	燕市イキイキまちづくり事業審査会委員	燕市障害者介護給付費等支給審査会委員	燕市介護保険運営協議会委員
燕市地域包括支援センター運営協議会委員	燕市地域密着型サービス運営委員会委員	燕市弥彦村介護認定審査会委員	

2. 安定した事業財源の確保

■会員会費の拡充

市民への福祉サービスの充実をめざし、6月に賛助会員・特別会員・まる特会員、8月に自治会協議会協力のもと一般会員の募集を行い、事業財源の確保に努めた。

(単位:円)

会費種別	会費額	実績額	前年度
一般会費	一世帯 500円	7,482,751	7,763,442
賛助会費	1口 1,000円	655,000	673,000
特別会費	1口 10,000円	2,770,000	2,880,000
まる特会費	1口 50,000円	800,000	800,000
合計		11,707,751	12,116,442

■共同募金事業への協力(新潟県共同募金会燕市支会)

共同募金運動は、住民相互の助け合いを基調とし、一人ひとりがこの運動を理解し、参加するよう呼びかけ、燕市支会の共同募金運動に協力した。

(1)赤い羽根募金 (単位:円)

募 金 種 別	目 標 額	実 績 額	前 年 度	
戸 別 募 金	8,400,000	8,324,654	8,409,419	
法 人 募 金	2,860,000	2,632,025	2,806,127	
職 域 募 金	365,000	317,038	360,834	
学 校 募 金	290,000	262,812	279,797	
街 頭 募 金(10カ所)	160,000	110,247	126,373	
そ の 他 募 金	638,000	685,327	624,899	
合 計	12,713,000	12,332,103	12,607,449	目標達成率 97.00%

(2)歳末たすけあい募金 (単位:円)

地 区	目 標 額	実 績 額	前 年 度	
戸別募金		4,869,665	4,977,604	
その他募金		69,464	63,195	
合 計	5,138,000	4,939,129	5,040,799	目標達成率 96.13%

■事業財源の募集・確保

(1)福祉基金等運営事業

基金から生ずる利息を事業費に充当し、福祉の充実を図った。

(単位:円)

名 称	項 目・金 額	使 途	年 度 末 基 金 残 高
社会福祉基金	預金利息:4,957円	全額事業費に充当(次年度繰越)	22,388,321 (北越銀行定期預金)
	法人運営事業寄付金:2,552,288円	基金原資に加算(前年度分含む)	
早川賢治・清子記念 社会福祉基金	預金利息:9,092円	全額事業費に充当(次年度繰越)	30,309,159 (協栄信用組合定期預金)

(2)各種助成金の活用

・JAバンク新潟県信連創立50周年記念  
ホームヘルパー支援基金(60万円)

3. 施設の管理運営

■指定管理施設の管理経営

(1)燕市老人集会センター

燕市の指定管理者として、高齢者等の生きがいづくりや健康増進などの場とした施設の管理経営を行った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
大集会室	1,331	1,404	1,098	1,098	674	2,039	887	858	1,439	803	1,059	871	13,561	13,721
調理実習室	202	145	142	167	133	155	165	132	130	132	117	134	1,754	1,858
会議室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,533	1,549	1,240	1,265	807	2,194	1,052	990	1,569	935	1,176	1,005	15,315	15,579

(2)燕市障がい者地域生活支援センター「はばたき」

燕市の指定管理者として、障がい者に対する日常の相談や日中活動等を通し、地域生活を支援する場とした施設の管理経営を行った。

施設改修として、屋外遊び場、ウッドデッキが老朽化したためゴムチップタイルへ張り替えし、飛び出し防止用フェンスを設置した。

また、事業の周知や地域の理解を得るため、「はばたき祭」を開催した。(9/23:来場520名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
団体活動等	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	58
会 議	41	18	55	81	0	30	60	50	36	15	10	45	441	336
宿泊体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体験利用	0	0	6	0	15	1	7	0	5	0	0	1	35	110
その他	84	101	72	117	136	685	146	137	95	102	108	151	1,934	897
十日祝	94	111	70	108	32	73	87	91	100	94	137	84	1,081	1,413
合 計	219	230	213	306	183	789	300	278	236	211	255	281	3,501	2,814

(3) 燕市吉田老人センター「シニアセンターよしだ」

燕市の指定管理者として、高齢者の健康増進と生きがいづくりの場の提供並びに老人クラブ等の地域活動を支援するため施設の管理経営を行った。  
また、吉田老人文化祭(作品展示・物品販売など)を開催した。(10/11・12: 来場763名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
研修室	153	136	177	156	131	152	1,204	110	1,115	155	155	167	3,811	1,556
調理実習室	11	19	18	17	25	18	40	17	15	17	17	15	229	355
大広間	251	151	235	272	194	250	423	171	145	335	120	135	2,682	4,047
会議室	11	21	11	22	19	22	220	12	220	42	195	29	824	320
談話室	171	122	139	83	105	116	250	122	70	109	106	149	1,542	1,341
第1・2集会室	398	535	454	426	438	446	397	324	254	262	317	307	4,558	3,551
第1・2娯楽室	148	77	88	70	81	103	203	79	63	94	91	78	1,175	1,451
合 計	1,143	1,061	1,122	1,046	993	1,107	2,737	835	1,882	1,014	1,001	880	14,821	12,621

(4) 燕市分水保健福祉センター

燕市の指定管理者として、高齢者等の生きがいづくりや健康増進などの場とした施設の管理経営を行った。また、指定管理者選定等委員会による視察及び管理業務評価を受けた(C評定)。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
大広間	162	72	267	129	185	136	103	155	111	129	192	157	1,798	1,807
中広間	94	97	84	118	134	105	90	90	83	90	93	98	1,176	861
研修室	38	29	20	13	8	10	16	17	19	20	20	20	230	255
談話室	27	50	164	21	29	36	19	25	7	50	66	43	537	576
合 計	321	248	535	281	356	287	228	287	220	289	371	318	3,741	3,499

■ 法人施設の管理運営

(1) 燕市老人福祉センター「つばめ荘」

年末年始を除く通年の開館により、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションなど、生きがいづくりと心身の休養の場としての役割を果たした。  
また、老人福祉センター祭を開催した。(作品展示・芸能披露など)(9/13～15: 来場843名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
市内														
老人・障害者	2,064	2,055	1,868	1,956	1,844	1,595	1,955	1,965	1,726	1,910	1,872	1,950	22,760	24,315
中学生以上	14	19	14	25	22	15	22	14	14	14	9	13	195	219
市外者	0	0	3	3	2	0	1	0	1	3	0	0	13	1
減免者	170	124	117	110	80	108	95	101	40	39	173	166	1,323	1,414
合 計	2,248	2,198	2,002	2,094	1,948	1,718	2,073	2,080	1,781	1,966	2,054	2,129	24,291	25,949
個室利用(件数)	7	9	5	6	6	3	5	4	8	4	2	10	69	72

(2)屋内ゲートボール場「すばーく燕」

ゲートボール愛好者の利用を主体に、青少年等のスポーツ練習や地域行事等の多目的利用にも応じ、公益を目的とする施設として管理運営を行った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
GB利用者数	572	414	405	316	207	328	270	343	444	405	410	476	4,590	5,538
目的														
外														
利														
用														
者														
数														
小 計	220	60	60	230	20	20	635	200	368	520	306	167	2,806	3,720
合 計	792	474	465	546	227	348	905	543	812	925	716	643	7,396	9,258

(3)ふれあい喫茶「ぼぼ」

障がい者がボランティアと一緒に接客業務を行うことにより、社会参加への意欲の向上を目指した運営に努めた。

【売上状況】

(単位:円)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
売上金額	381,760	371,660	363,620	403,130	328,900	782,650	350,490	330,780	348,070	311,970	353,760	416,310	4,743,100	5,227,617

【従事状況】

(単位:人)

業務担当障がい者	人 数	前年度
身体障がい者(聴覚障がい)	2	2
知的障がい者	14	11
精神障がい者	0	0
合 計	16	13

(単位:人)

支援ボランティア	人 数	前年度
障がい者関係	14	12
高齢者関係	15	9
シルバー人材センター(有料)	3	3
合 計	32	24

(4)吉田ボランティア・市民活動センター「あい、ゆう」

ボランティアの研修や、情報の収集・交換・提供等ができる施設として運営した。

【利用状況】

(上段:件数、下段:人数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度	
会 場 利 用	会議室	36 479	33 436	31 420	29 435	23 333	34 471	38 522	31 403	33 441	23 299	24 311	34 507	369 5,057	398 4,491
	作業室	5 6	2 2	2 2	0 0	6 6	3 3	6 6	7 12	1 1	0 0	4 4	3 4	39 46	47 53
	相談室	10 29	10 20	13 38	11 32	13 38	9 30	7 19	4 9	7 23	9 28	4 8	8 29	105 303	77 214
	コミュニティ スペース	2 7	5 13	2 8	2 7	4 12	4 64	3 65	4 73	2 27	1 7	2 5	5 19	36 307	32 126
	小 計	53 521	50 471	48 468	42 474	46 389	50 568	54 612	46 497	43 492	33 334	34 328	50 559	549 5,713	554 4,884



## 4. 地域を支える人づくり

### ■ボランティア・市民活動センター機能の充実・強化

#### (1) ボランティア・市民活動センターの機能強化

ボランティア・市民活動センター運営委員会を開催し事業等について検討を行うなど、本・支所のボランティア・市民活動センターとしての窓口機能の充実を図った。市内で活躍するボランティア・市民活動団体(市内NPO法人、まちづくり協議会、イキイキまちづくり団体等)に対し、市地域振興課の協力のもとアンケートを実施。回答のあった129団体について、『燕市市民活動データブック』の平成25年度データを更新し、平成26年度版を燕市及び本会のホームページに公開した。

また、市内におけるボランティア活動の近況紹介や講座開催など幅広く情報を発信するとともに、3名の市民の方を情報収集協力者に依頼し、市民目線の情報も収集した。

燕市ボランティア・市民活動センター運営委員会(再掲)	2回(5/27、3/25)
ボランティア情報収集協力者情報交換会	2回(9/8、3/27)
つばめボランティア・市民活動情報コーナーの掲載	偶数月発行(全戸配布)の社協だよりの最終ページを情報コーナーとした

#### (2) 登録・斡旋・相談・連絡、ボランティア活動保険への加入促進

ボランティア活動保険への加入促進を図るとともに、ボランティアコーディネーターを中心としてボランティアにかかわる相談・登録・斡旋に努め、連絡調整の機能を果たした。ほかに、ボランティアの相談内容や登録ボランティア情報のデータ整備を行った。

- ・窓口相談件数 計79件(燕本所:44件、吉田支所:27件、分水支所:8件)
- ・ボランティア・市民活動センター団体会員数:43,699名、実活動者数:4,861名(団体アンケートより)
- ・ボランティア活動保険加入者数:1,423名

#### (3) ボランティアコーナーの設置・管理

ボランティア間の情報交換の場として、身近な情報の発信に努めるとともに、最新情報の提供と収集の場として本・支所にボランティアコーナーを設置した。

### ■人材の発掘・育成

#### (1) ボランティア情報交換会の開催

ボランティア・市民活動における知識や経験、課題解決のための意見や情報の交換等を通じて、地域の社会資源ネットワークづくりを進めた。

ボランティア情報交換会(夜間開催)	8/20:82名、12/17:17名
-------------------	--------------------

#### (2) ボランティア発掘・養成講座の企画運営

地域の福祉ニーズを反映し、地域における人材育成も含めた講座を企画運営した。

また、初心者向けに実際のボランティア活動を体験することでより身近なものとして理解し、活動実践へのきっかけづくりの機会とした講座をボランティア団体からの協力を得て実施した。

初心者向けボランティア講座	5講座:延べ33名の小学生・一般市民が受講	
内 訳	手話体験(協力:手話サークルふれあい)	7/28:11名
	要約筆記体験(協力:要約筆記つばめ)	8/1:5名
	パソコンサロン体験(協力:サロンすまいる)	8/5:4名
	傾聴体験(協力:傾聴ボランティアゆう&あい)	8/8:6名
	子育てサロン体験(協力:小中川子育てサロン)	8/19:7名
燕西地区地域支え合い活動ボランティア養成講座	3/13:15名	

#### (3) 福祉教育・総合学習の支援

市内の学校に出向き、福祉体験の指導や講義(手話・点字・車イス・高齢者擬似体験・アイマスク体験等)などで福祉教育の支援を行った。

吉田特別支援学校(5・6年生児童)への総合学習支援	10回(4月4回、5月3回、6月1回、7月2回)
市内小中高等学校への総合学習支援	10回(6月1回、7月1回、9月3回、10月4回、11月1回)

(4)福祉教育担当者会議の開催

小・中学校の福祉教育担当者を対象に、本会の進める福祉教育・総合学習支援について周知するとともに、情報交換を行った。

福祉教育担当者会議	6/25:30名
-----------	----------

■住民団体等との連携・支援

(1)民生委員・児童委員との協働

地区民生委員児童委員協議会定例会等に出席し、本会事業の周知を図るとともに、事業全般にわたる協力をお願いし地域福祉の推進を図った

地区民生委員児童委員協議会定例会への出席	燕第1～第4地区民協:延べ40回、吉田地区民協:12回、分水地区民協:10回
おせち料理宅配サービス事業での共催	希望取りまとめ:11/4～12/5、宅配実施:12/31

(2)まちづくり協議会との連携

まちづくり協議会のエリアにおける地域支え合い活動の実践を進めるにあたって、まちづくり協議会単位での地域の多様な福祉ニーズの把握と、対応するための協議を行った。

まちづくり協議会会長・事務局長懇談会への出席	8/7:職員2名
各地区まちづくり協議会役員会・総会へ出席	5/16:2名、5/25:1名、5/28:2名、6/7:2名、以上職員出席
地区福祉懇談会(まちづくり協議会エリアでの開催)	8回(7/30、8/23、10/21、10/23、11/1、11/7、11/21、1/14):延べ130名

(3)福祉活動団体等への支援

福祉活動等を行う団体・グループに対し、活動及び助成に関する情報の提供や相談対応などその支援を行った。

(4)市内支援機関との連携

市内支援機関との定例会や勉強会等を開催し、業務の相互理解のもと、課題解決に向けた円滑な連携体制を図った。

市内地域包括支援センター職員との定例会への出席	4つの地域包括支援センター単位に隔月1回:CSW1～2名
市内地域包括支援センター社会福祉士部会への出席	隔月1回:総合相談支援センター職員、CSW

(5)NPO・市民活動への支援

NPOに対し運営費助成のほか、ボランティア情報交換会への参加を求め、発展的な活動への支援及び他団体との連携を図った。

市民活動データブック団体情報の更新	更新団体:39団体
ボランティア情報交換会(夜間開催) ※再掲	8/20:82名、12/17:17名

(6)ボランティア連絡協議会への支援

市及び地区のボランティア連絡協議会の事務局運営等の支援のほか、協働により事業を実施した。

なお、同協議会は、所期目的を達成し一定の役割を果たしたことから、本年度末をもって解散した。

燕市ボランティア連絡協議会総会・理事会・監査会	総会:4/13 理事会:6/9、9/16、12/11、1/27 監査会:3/27
燕地区ボランティア連絡協議会総会・役員会・監査会	総会:4/13、3/3 役員会:5/21、7/7、10/1、1/15、2/24 監査会:2/27
吉田地区ボランティア連絡協議会総会・役員会・監査会	総会:4/13、3/14 役員会:5/21、8/6、10/15、1/14、3/4 監査会:3/4
分水地区ボランティア連絡協議会総会・役員会・監査会	総会:4/13、3/13 役員会:6/12、10/29、1/16、2/25 監査会:2/25
初心者向けボランティア講座の共催 ※再掲	5講座実施:延べ33名の小学生・一般市民が受講
ボランティア情報交換会(夜間開催)の共催 ※再掲	8/20:82名、12/17:17名

(7)老人クラブ連合会への支援

市及び地区の老人クラブ連合会の事務局運営等の支援を行った。

(8)24時間TVチャリティー募金への支援

日本テレビ放送網(株)が主催するチャリティー募金に賛同し、ボランティアによる募金活動への支援を行った。

24時間TVチャリティー募金	8/30・31:延べ4カ所、ボランティア:延べ33名	募金計:592,594円
----------------	----------------------------	--------------

## 5. 一人ひとりの自立生活を支えるシステムづくり

### ■福祉コミュニティの推進

#### (1)地域支え合い体制の推進

第2次燕市地域福祉活動計画「燕ささえあいプラン」における地域支え合い活動の取り組みを進めるにあたり、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)を1名増員し、計4名の配置とした。実践2年目として、昨年度に開催した地区福祉懇談会や先進地視察研修、さらに個別のケースへの支援等を通じて得た課題などを分析し、従来の支え合いのイメージをより具体的なものに修正した。

本年度は、市内4カ所(燕第一地区、燕西地区、粟生津地区、分水小学校区)のまちづくり協議会エリアで先駆的に支え合いのしくみづくりを実践し、各エリアにおいて「地区支え合い活動推進委員会」を設置することができた。

#### ●関係機関との連携

市内地域包括支援センター職員との定例会へ出席 ※再掲	市内4つの地域包括支援センター単位に隔月1回:CSW1~2名
市内地域包括支援センター社会福祉士部会への出席 ※再掲	隔月1回:総合相談支援センター職員、CSW
生活困窮者自立促進支援モデル事業支援調整会議(市主催)への出席	6/30:CSW1名
地域ケア会議への出席	吉田地区:(3/25)1名、分水地区:(2/18):1名、以上CSW
認知症の人の見守り・声かけ訓練への協力	分水地区:(3/4):CSW1名
その他、各地区ケアマネ連絡会のほか、各関係機関や団体等の自主研修会等へ積極的に参加し、連携を強化した。	

#### ●住民・地域の意識変化

まちづくり協議会会長・事務局長懇談会への出席 ※再掲	8/7:2名、職員・CSW
燕市自治会協議会理事会・総会への出席	4/21:2名、5/19:2名、以上職員・CSW
各地区まちづくり協議会役員会・総会へ出席 ※再掲	5/16:2名、5/25:1名、5/28:2名、6/7:2名、以上CSW
自主防災組織の開催する防災訓練や検討会に出席	6/1:3名、7/9:2名、以上職員・CSW
地区福祉懇談会(まちづくり協議会エリアでの開催) ※再掲	8回(7/30、8/23、10/21・23、11/1・7・21、1/14):延べ130名
地域支え合い懇談会(燕第一地区)	10/7:47名
自治会懇談会(粟生津地区)	5回(6/24、9/25、10/2・6・9):延べ76名
支え合い活動勉強会(燕第一地区、燕西地区)	6/27、9/10:延べ55名 ※地区支え合い活動推進委員会との共催
地域支え合い活動情報交換会	2/9:36名
燕西地区地域支え合い活動ボランティア養成講座 ※再掲	3/13:15名

#### ●具体的ニーズの充足度

相談対応	20件
------	-----

● 支え合いのしくみづくりの実践

燕第一地区エリア	支え合い活動推進委員会設立(7/18) 燕第一地区支え合い活動推進委員会(7/18、8/27、9/25、10/7、11/21、2/27) ※再掲 支え合い活動相談員(おたすけ相談員)4名 支え合い活動相談員養成研修(9/12) 相談窓口(おたすけ相談所)開設(10/17)(毎週火・金曜:午前9時～正午) 相談件数:4件(困りごと3件、傾聴1件) ボランティア登録:12名
燕西地区エリア	支え合い活動推進委員会設立(8/5) 燕西地区支え合い活動推進委員会(8/5、10/1・24、11/27、1/14、3/17) ※再掲 支え合い活動相談員(こまりごと相談員)2名 支え合い活動相談員養成研修(12/17) 相談窓口(こまりごと相談所)開設(3/4)(毎週水曜:午前9時～正午) 相談件数:0件 ボランティア登録:5名
粟生津地区エリア	支え合い活動推進委員会設立(11/17) ※粟生津協議会内に設置
分水小学校区エリア	支え合い活動推進委員会設立(1/30)

● その他

平成26年度社会福祉協議会活動全国会議へ出席	6/12～13:CSW1名																								
地域包括ケアシステムに関する勉強会(講師:金井敏氏)	6/27:職員16名、市職員3名、地域包括支援センター職員6名																								
CSW実践者養成研修(新潟県社会福祉協議会主催)の受講	8/5～6:CSW1名																								
CSW実践者養成研修(日本地域福祉研究所主催)の受講	[STEP1]8/9～10、[STEP2]2/21～22:CSW1名																								
地域福祉実践研究セミナー(日本地域福祉研究所主催)への参加	8/28～30:2名、職員・CSW																								
「地域支え合い活動の手引き」パンフレット作成 ※再掲	1,000部																								
<p>玄関前除雪支援事業(歳末たすけあい募金による配分金充当)                  地域での支え合い活動推進のため、除雪支援体制づくりへの協力を求めた。                  主に高齢者や障害者のみの世帯等で、自力での玄関前除雪が困難であり、親族や地域住民からの支援が受けられない世帯に対して、除雪作業に係る費用の全額助成を行った。地域で除雪支援体制が得がたい場合は、従来どおりシルバー人材センターより除雪支援者の派遣を行った。</p> <p>【除雪支援申請状況】 (単位:世帯)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>燕地区</th> <th>吉田地区</th> <th>分水地区</th> <th>合計</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域支援</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>14</td> <td>58</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>シルバー委託</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>29</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43</td> <td>27</td> <td>17</td> <td>87</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>		区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	前年度	地域支援	23	21	14	58	58	シルバー委託	20	6	3	29	27	合計	43	27	17	87	85
区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	前年度																				
地域支援	23	21	14	58	58																				
シルバー委託	20	6	3	29	27																				
合計	43	27	17	87	85																				

(2) 地区福祉懇談会の開催

地区ごとに福祉懇談会を開催し、本会事業の周知を図るとともに、地域における課題を把握・共有し、福祉コミュニティの推進を図った。

地区福祉懇談会(まちづくり協議会エリアでの開催) ※再掲	8回(7/30、8/23、10/21・23、11/1・7・21、1/14):延べ130名
------------------------------	--

(3)ふれあいサロン事業の拡大・充実

閉じこもりがちな高齢者や障がい者等が集う、「地域住民が自主運営する」ふれあいサロンに対し、体操指導者や運営スタッフの派遣など活動を支援した。また、サロンの開催回数と参集者数に応じ活動助成を行った。(サロン数71:燕地区17、吉田地区27、分水地区27)

ふれあいサロン協力員向け脳活性化部門講習会	燕地区11/5・12:延べ21名、吉田地区10/24・31:延べ32名、分水地区11/20・27:延べ38名
ふれあいサロン研修会、助成説明会	2/27:53名
ふれあいサロンへの体操指導者の派遣	燕地区:2回、吉田地区:4回、分水地区:7回
ふれあいサロンへの運営スタッフの派遣	燕地区:2回、吉田地区:2回、分水地区:20回
ふれあいサロンへの福祉相談の実施(職員派遣)	分水地区:4回
ふれあいサロンへの備品貸し出し	燕地区:1回、吉田地区:15回、分水地区:4回

(4)子育てサロンの拡大・充実

就園前の子どもとその親などが地域の集会所などに定期的に集まり、「市民参加による自主運営で開催される子育て版」ふれあいサロンに対し、活動費助成や備品の貸し出しなどを行った。(サロン数6:燕地区4、吉田地区1、分水地区1)

子育てサロン協力員研修会	2/26:7名
子育てサロンへの備品貸し出し	燕地区:12回、吉田地区11回
子育てサロンへの体操指導者の派遣	分水地区:1回

(5)在宅介護者サロンの拡大・充実

在宅で介護をしている方が定期的に集まり、「市民参加による自主運営で開催される在宅介護者版」ふれあいサロンに対し、活動助成を行った。(サロン数2:燕地区1、吉田地区1)

(6)地域介護予防活動支援事業の実施

市の委託を受け、介護予防活動へのきっかけづくりのほか、新たな人材発掘を目的に講演会や体操のお試し教室を開催し、地域住民への啓発を図った。また、健康運動サポーター養成講座を通し人材育成を図るとともに、その人材を活かせるよう市担当課との連携により新規グループの立ち上げを進めた。(グループ数21:燕地区12、吉田地区4、分水地区5)

ウォーミングアップサロン(サポーター育成のための実践訓練)	延べ171名(4/23、5/20、6/20、8/27、9/30、10/17、12/17、1/20、2/20、3/11)
お試し教室(8回コース)(南スポーツパーク:燕地区)	延べ187名(4/18・2、5/2・9・16・23・30、6/6)
お試し教室(8回コース)(寿町集会所:燕地区)	延べ88名(6/17・24、7/1・8・15・22・29、8/5)
お試し教室(8回コース)(分水福祉会館:分水地区)	延べ219名(8/29、9/5・12・19、10/3・10・17・24)
お試し教室(8回コース)(渡部公会堂:分水地区)	延べ114名(12/8・15・22、1/19・26、2/2・9・16)
お試し教室(8回コース)(本所公会堂・寿幸会館:吉田地区)	延べ108名(1/15・22・29、2/5・12・19・26、3/5)
レインボー健康体操体験会(市内8会場)	延べ197名(4/24、5/14、6/18、7/15、8/22、9/10、10/23、11/17、12/8、1/13、2/4、3/9)
レインボー健康体操講演会(講師:関口陽子氏)	170名(6/28)
レインボー健康体操講演会(老人クラブ向け)	燕地区11/13:19名、吉田地区12/3:17名、分水地区11/10:15名
レインボー健康体操指導者勉強会	4/12:9名、7/5:9名、10/18:11名、1/31:10名
介護予防活動自主グループ立ち上げへの支援(体操指導講師の派遣)	3グループ:延べ18回
介護予防活動自主グループへの体操指導講師の派遣	15グループ:延べ45回
ふれあいサロンへの体操指導講師の派遣 ※再掲	燕地区:2回、吉田地区:4回、分水地区:7回
子育てサロンへの体操指導講師の派遣 ※再掲	分水地区:1回
ふれあいサロン協力員向け脳活性化部門講習会(2回コース) ※再掲	燕地区延べ14名(11/5・12)、吉田地区延べ17名(10/24・31)、分水地区延べ18名(11/20・27)
ふれあいサロン研修会 ※再掲	53名(2/27)
フォローアップ研修会	20名(7/16)、19名(8/6)、25名(11/7)、22名(11/14)
健康運動サポーター養成講座(8回コース)	18名(9/22、9/29、10/6・20・27、11/10・17、12/1)
介護予防を中心としたグループでの体力測定	1回8グループ:延べ263名

■給付事業の実施

(1)配食サービス事業の実施

市の委託を受け、独居老人等を対象に燕地区(利用者数:47名)・分水地区(利用者数:5名)で実施。

燕地区は、週2回のうち1回は燕給食ボランティアの会より調理・配達の協力を得て行い、もう1回は業者の調理済み弁当を配達した。また、燕給食ボランティアの会では、6月17日・18日に「お楽しみ献立給食」を実施した。

分水地区では、週1回の実施で、業者の調理済み弁当を運転ボランティアの協力を得て配達した。

なお、分水地区の配食サービス事業受託については、本年度末をもって終了した。

(2)障がい者タクシー券等助成事業

社会参加を目的に、身体障がい者手帳1級・2級所持者に年間24枚、身体障がい者手帳3級・療育手帳A所持者に年間12枚のタクシー利用券または自動車利用券の給付を行った。(タクシー利用券・自動車燃料費助成券とも1枚の助成額は、小型タクシー基本料金から1割除いた額)

【タクシー利用券申請状況】

(単位:人)

区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	前年度
12枚	103	55	24	182	190
24枚	197	118	34	349	394
合計	300	173	58	531	584

【自動車燃料助成券申請状況】

(単位:人)

区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	前年度
12枚	160	90	67	317	317
24枚	359	196	96	651	666
合計	519	286	163	968	983

(3)金婚慶祝事業

結婚50年を迎えた夫婦に対して、敬老の日に「祝詞」を贈呈した。(贈呈数:146組) (前年:161組)

(4)法外援護事業

行政窓口を訪れる行旅人に市外最寄り駅までの切符を支給する財源(片道切符代:230~480円)を負担した。(行旅人:2名)

(5)児童遊園地等ベンチ整備事業

市担当課との協議のもと、市内における児童遊園地等に本会及び共同募金を周知する文字入れのベンチを設置した。(設置数:13脚)

(6)歳末たすけあい配分事業

●おせち料理宅配サービス事業

75歳以上の単身高齢者、85歳以上の高齢者のみの世帯、75歳以上の高齢者のみと障害者(定め有り)の同居世帯を対象に、民生委員・児童委員が希望者の希望者の取りまとめを行い、大晦日に民生委員・児童委員やボランティアが希望者におせち料理を宅配した。

(おせち料理申請世帯…979世帯:燕地区525世帯、吉田地区296世帯、分水地区158世帯) (前年:909世帯)

(配達者…計121名:燕地区59名、吉田地区35名、分水地区27名) (前年:119名)

●クリスマスケーキ贈呈事業

小学生以下の児童のいる一定の基準を下回る低所得世帯に対し、クリスマスケーキを贈呈した。(申請世帯:8世帯)

●ふれあいサロン歳末イベント助成事業

ふれあいサロン(子育て・在宅介護者を含む)が歳末に行うイベントに対し、その事業費(上限5,000円)を助成した。(33サロン)

●入学祝品贈呈事業

平成27年度の市内小学校新入学全児童に対し、本会と共同募金会のPRを兼ねて両会名入れの鉛筆(3本組)を贈呈した。(655名)

■当事者支援の充実・強化

(1)在宅介護者リフレッシュ事業の実施

市の委託を受け、在宅介護者を対象に日帰り1泊2日の温泉旅行をはじめ、ボランティアの協力を得て情報交換や集いの場を定期的実施した。  
また、男性介護者支援を考える講演会を開催した。

日帰り旅行(新発田市:月岡温泉)	6/29:20名
宿泊旅行(群馬県:磯部温泉)	9/6~7:20名
ランチ交流会(各地区)	7/23:17名、10/28:10名、3/7:20名
ほっとカフェ(分水地区)	4/24、5/21、6/18、7/17、8/27、9/24、10/22、11/20、12/18、1/28、2/19、3/11:延べ35名
男性介護者支援を考える講演会(講師:津止正敏氏)	11/14:64名

(2)就労支援センター事業(就労継続支援A型)

- ・就労継続支援A型事業所として、一般企業等での就労が困難な障害のある人を対象に、就労場面の提供を通して必要な支援を行った。
- ・自主事業であるキャンドル作業については、福祉コーディネーターからのアドバイスを受けながら、商品の企画、制作、販売、ワークショップの開催等により順調に売上を伸ばすことが出来た。利用者が商品づくりを通して働くことへの責任感ややりがいを持てるような働きかけを行った。
- ・配食作業では季節ごとに新メニューを開発し、ご好評をいただいた。
- ・一般就労を果たした利用者(1名)に対し、職場の定着に向けた支援を行ったが、結果として継続的な就労につながらなかった。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度
利用登録者数	28	28	28	27	25	25	25	26	26	26	26	24	314	26	30
内訳	雇用者数	21	20	20	19	17	18	18	18	18	18	17	222	19	23
	非雇用者数	7	8	8	8	8	7	7	8	8	8	7	92	7	7
	男性	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	13	171	14	16
	女性	14	14	14	13	11	11	11	11	11	11	11	143	12	14
平均利用実績数	25.4	24.9	26.3	24.9	23.6	23.4	23.6	24.2	24.1	23.7	22.5	22.5	289	24.1	27.0
新規	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3		
終了	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	2	7		

【障害者手帳区分】

(単位:人)

項目	精神	療育	身体	手帳重複	手帳なし	合計
平成26年度末	10	8	2	1	3	24
前年度	9	8	5	1	5	28

・内部及び外部研修等への参加

【内部研修】

就労支援センター新人研修	4/1:3名
内部研修① 就労支援センターの現状について	6/3:10名
内部研修② 他施設の自主製品開発と職員の取り組みについて「つばめキャンドル」の1年を振り返って今考える!地域包括ケアシステムから推察する燕市社協像	8/26:14名
内部研修③ 苦情解決~初期対応時の心得~インフルエンザ・ノロウイルス対策、実技	9/19:9名
内部研修④ 苦情解決~初期対応時の心得~インフルエンザ・ノロウイルス対策、実技	11/25:9名
内部連携促進研修会	12/5:2名
就労利用者向け インフルエンザ・ノロウイルス研修	12/16:32名
就労利用者向け 働くために必要なことについて	2/16:30名
福祉現場と作業療法士の接点	2/26:5名

【外部研修】

障害福祉関係施設長会議	4/14:1名
2014年度社会福祉士実習指導者研修	10/4～5:1名
福祉をかえるアート化セミナー	10/10～11:1名
苦情解決責任者研修	10/24:1名
就業支援基礎研修	11/26～28:1名
授産事業活性化研修会	12/16～17:1名
新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修	2/3～4:1名
障がい者就業生活・支援センターハート関係機関連携会議	3/3:2名
新潟県サービス管理責任者のためのフォローアップ研修	3/6:1名

(3)デマンド交通予約センター事業

市の委託により、デマンド交通予約センター(職員7名)で、「おでかけきららん号」の予約受付業務と運転手への配車業務を実施した。主に高齢者のための公共交通機関の一つとして、地域福祉の向上に努めた。(運行日1日当たり158名が利用)

【利用状況】

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
中学生以上	3,143	3,130	3,059	3,545	3,095	3,340	3,730	3,021	3,111	2,816	2,710	3,235	37,935	35,856
小学生	37	31	37	49	35	26	24	19	24	20	19	42	363	340
未就学児	2	0	3	12	4	40	23	27	38	18	4	22	193	101
合計	3,182	3,161	3,099	3,606	3,134	3,406	3,777	3,067	3,173	2,854	2,733	3,299	38,491	36,297

(4)地域活動支援センター事業(はばたきにて実施)

障がいのある人へ日常生活等に関する相談の対応をはじめ、安心して過ごせる居場所の提供、仲間との交流や興味・創作活動等を通して、社会参加の促進を図った。他に、調理、書道、お茶、コラージュなど日課的な活動に加え、花見、外食、カラオケなどグループでの外出体験や内職作業を定期的に実施することにより、個々の生活に対する意欲や能力の向上を支援した。創作活動における自主生産品は、販売等を通じて事業のPRに努めた。

(登録者数:65名 新規含む。)

また、「はばたき祭」(9/23開催)では、はばたき利用者による出店での接客応対やステージ発表でダンスを行い、日頃の活動成果を発表できた。

このほか、はばたきで活動するボランティアを対象に勉強会・意見交換会を行った。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
障害児	12	20	15	11	3	4	9	18	19	19	17	20	167	21
障害者	388	327	370	360	304	403	394	322	335	323	327	390	4,243	4,466
合計	400	347	385	371	307	407	403	340	354	342	344	410	4,410	4,487

(単位:人)

利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	前年度
新規登録者数	4	2	2	1	2	2	2	1	2	0	0	0	18	15
1日平均人数	19.0	17.3	18.3	16.8	14.6	20.3	18.2	18.8	18.6	18.0	18.1	18.6	18.1	18.2



(5)日中一時支援事業(はばたき)

「四箇村ふれあい館」を借用し、四箇村会場として長期休校日(8:00~18:30)のみサービスを提供した。学齢期障がい児の日中活動の場の提供や、見守り等による家族の一時的な介護負担の軽減を図った。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
区分1(軽度)	2	—	—	5	15	—	—	—	2	4	—	5	33	32
区分2(中度)	3	—	—	2	21	—	—	—	2	2	—	3	33	41
区分3(重度)	17	—	—	32	80	—	—	—	13	7	—	32	181	188
合計	22	0	0	39	116	0	0	0	17	13	0	40	247	261

(6)放課後等デイサービス事業(はばたき)

利用者に個別支援計画を作成し、一人ひとりにあった専門的な療法を用いることで、コミュニケーション能力や社会性等の発達に介入していき、自立した日常生活のために必要な支援を行った。

利用定員は10名とし、放課後の時間帯(14:30~18:30)及び土曜日・長期休校日等(8:00~18:30)にサービスを提供した。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
発達障害	124	133	116	136	102	128	123	106	96	104	106	121	1,395	1,764
知的障害	109	110	113	120	138	112	121	117	105	118	116	136	1,415	989
身体障害	11	4	6	12	29	5	6	8	9	10	4	13	117	129
合計	244	247	235	268	269	245	250	231	210	232	226	270	2,927	2,882

## 6. 福祉サービスの利用支援・権利擁護

### ■福祉サービス利用相談・権利擁護

#### (1)総合相談支援センターの推進

##### ●福祉後見・権利擁護センター事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に係る相談対応及び手続き支援、また普及・啓発活動やネットワークの構築などに取り組み、地域における権利擁護支援の中核的な機能及び役割を果たした。さらに年度当初7件だった法人後見は年度内に3件新規受任する一方1件死亡終了となり、事業開始からの累積件数は12件となった。センターの運営の透明性を担保するため運営委員会での報告及び意見聴取等を行い、より専門的な見地からの助言等の集積を図った。また、日常生活自立支援事業については相談の受付や情報提供、利用者との仲立ちや生活支援員へのサポートなどの協力を積極的に行った。

さらに昨年度から「総合相談支援センター」として障害者相談支援事業と一体的に事業を進め、市委託の相談支援機関として総合力を発揮した。

#### 【研修会等の実施・参加】

福祉従事者のための学習会の実施	4/30、2/6:延べ40名
ふれあいサロン福祉相談員派遣(勉強会の実施)	6/10:18名
法人後見実施社協等による意見交換会参加	7/10
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会参加	7/10
福祉関係者のための成年後見制度活用講座参加	8/8、11/27
日常生活自立支援事業生活支援員研修会参加	10/14:8名、職員2名
成年後見制度市町村長申立推進研修会参加	12/3
成年後見制度学習会の実施(於コロニー(こいがた白岩の里))	2/5:10名、職員2名
成年後見制度法人後見推進研修会参加	2/20、3/4、3/5

#### 【日常生活自立支援事業利用状況(対象区分別実利用者数)】(年度末現在)

認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
10名(前年:14名)	5名(前年:5名)	3名(前年:4名)	18名(前年:23名)

#### 【生活支援員 登録者数等】(年度末現在)

登録者数	実働者数	実働率
15名(前年:14名)	14名(前年:14名)	93.3%(前年:100%)

●相談支援事業(はばたき)

相談支援専門員を1名増員し、障がい者(児)に関するさまざまな相談に対応するとともに、初期相談対応だけでなく訪問を適宜行い日常生活を支えた。また、サービス等の利用計画を作成し、福祉サービスの紹介や手続き等の支援を行った。

【相談対応状況】

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
来 所	87	109	116	107	97	85	70	69	75	55	60	55	985	1,723
訪 問	34	42	40	22	24	45	55	36	31	57	48	74	508	327
電 話	108	109	118	112	106	109	106	93	122	107	93	165	1,348	1,021
その他	119	161	137	134	113	152	186	196	181	170	203	212	1,964	1,081
計画相談数	11	1	6	6	4	6	8	6	7	9	13	29	106	77
合 計	359	422	417	381	344	397	425	400	416	398	417	535	4,911	4,229

市との委託契約に基づき、介護給付費等支給決定に係る障害程度区分認定調査を実施した。

【調査実施状況】

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度
在 宅	4	5	2	1	2	2	2	7	2	3	5	3	38	27
施 設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	18
合 計	5	0	2	1	2	2	2	7	2	4	6	3	41	45

●心配ごと相談事業及び弁護士相談事業の実施

心配ごと相談所は、燕地区・吉田地区でそれぞれ月2回、分水地区で月1回、弁護士相談については、3地区を巡回しながら毎月2回開設した。

また、心配ごと相談員に対しては、弁護士による地区研修会を実施し、同相談員のレベル向上を図った。

(心配ごと相談員研修会…各地区において3カ月に1回)

【開設・相談対応状況】

(単位:件)

開設日数	①36日		週平均		1日		心配ごと相談所																			常勤相談員 0名		
	②24日						そ の 他 9名(民生委員・児童委員8名、民生委員・児童委員以外1名)																					
相談内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	相 談 件 数 計	来 談 者 数 計 (人)	前 年 度 相 談 件 数						
	生	年	生	住	家	結	離	健	健	医	法	財	事	児	青	児	父	老	苦				そ					
	計	金	業	宅	族	婚	婚	衛	療	律	産	故	童	教	障	母	人	人	情	他								
① 心配ごと相談	燕	1	0	1	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	10	11	17					
	吉田	3	0	4	1	2	0	0	4	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	21	21	36					
	分水	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	6					
② 弁護士相談	燕	0	0	0	0	1	0	10	0	0	7	12	0	0	0	0	0	0	1	0	31	35	35					
	吉田	1	0	0	0	3	0	9	0	0	14	5	0	0	0	0	0	0	0	0	32	35	33					
	分水	0	1	2	4	2	0	5	0	0	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	31	32	34					
合 計	6	1	7	7	9	0	25	7	6	28	30	0	0	0	1	0	0	2	1	130	137	161						

(2)生活福祉資金貸付制度の利用支援

新潟県社会福祉協議会による貸付事業の窓口として、既存利用者に対する償還指導及び利用相談、新規申請受付の業務を行った。

(貸付件数12件:燕地区5件、吉田地区5件、分水地区2件)

生活福祉資金「債権管理」巡回訪問(新潟県社会福祉協議会主催)	6/19:県社協職員3名来所
生活福祉資金事務担当者会議(新潟県社会福祉協議会主催)	7/18:2名、2/18:1名、職員出席

(3)小口資金貸付事業の実施

緊急の生活つなぎ資金として、連帯保証人を有することを原則に3万円を限度とした資金貸付を行った。  
また、相談や貸付業務では、速やかなに対応できる体制を整え実施した。さらに、長期滞納者に対しては、定期的に償還の督促を行った。  
(貸付件数27件:燕地区18件、吉田地区9件)

## 7. 在宅福祉サービスの充実

### ■介護事業所の事業管理・経営

介護保険制度及び障害者総合支援法に基づく指定事業所として、法令を順守した訪問介護サービス及び訪問入浴介護サービスを提供した。また、ケアマネジャーの配置による居宅介護支援事業を展開し、介護サービスの利用相談とサービス提供事業所との調整の役割を担った。  
事業所経営の安定のため、介護保険制度改正の情報の入手に努めつつ、収支状況の分析を行った。また、提供するサービスの現状を評価し改善点の確認を行ったり、定期的な職員研修の実施により資質の向上に努めた。

(1)介護事業課内部研修会の実施

職業倫理、法令順守、プライバシー保護について	5/15:34名
グレーゾーン対応について	6/27:35名
事故発生等緊急時の対応について	9/11:33名
認知症の現状と対応について	11/20:29名

(2)地域福祉事業、地域、関係機関等との連携、協力

・ふれあいサロン福祉相談職員派遣

幕島ろばた会 幕島開発センター	6/12:2名、9/18:2名
分水さくら会 笈ヶ島ふれあい館	8/8:2名

・実習生の受け入れ

日本こども福祉専門学校	3名×2日間
新潟医療福祉カレッジ	4名×2日間
長岡こども医療介護専門学校	2名×2日間

・燕市シルバー人材センター講師派遣

家事援助サービス講習会(燕市勤労者総合福祉センター)	10/20・21:1名
----------------------------	-------------

### ■居宅介護支援事業

介護保険制度の指定居宅介護支援事業所として、4名のケアマネジャーを配置して事業を実施した。住み慣れた地域の中で、安心して自立した日常生活が営まれるよう適正な支援に努めた。

(1)要介護状態になっても、居宅において自立した日常生活が送れるよう支援した。

【給付管理件数】

区分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
要支援1・2	102	8.5	104	8.6
要介護1・2	591	49.3	643	53.6
要介護3～5	410	34.2	464	38.7
合計	1,103	91.9	1,211	100.9

(2)新規の依頼を積極的に受けた。

【給付管理件数】

区分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
新規依頼	27	2.2	38	3.2

(3) 困難事例を積極的に受け入れた。

【給付管理件数】

区分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
認知症高齢者	217	18	266	22.2
独居高齢者	62	5.1	75	6.3

(5) 特定事業所加算Ⅱを算定し質の高いケアマネジメントの推進に努めた。

・24時間連絡体制を確保し相談に応じる体制を確保した。

区分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
営業時間外相談受付件数	50	4.1	69	5.8

・利用者に関する情報、サービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的としたケアマネ定例会を、週1回開催した。

・研修会に積極的に参加し、介護支援専門員の質の確保・向上に努めた。

燕西蒲原地区介護支援専門員協議会研修	4/18:1名、6/2:4名
ケアマネ情報交換会	5/18:2名
燕市処遇困難事例検討会	5/23:1名、9/19:2名、1/16:1名
苦情対応能力向上研修	6/11:1名
ケアマネ代表者会議	6/12:4名、8/23:1名、12/9:3名、2/9:3名
ケアマネ事例検討会	6/17:1名、8/19:1名、10/20:1名、12/17:1名、2/17:1名
ウィルアシストセミナー	6/20:1名、7/18:1名、9/5:1名
燕弥彦地域在宅医療連携協議会研修会	7/5:1名
リフトを活用した介助について	7/10:1名
ケアマネと燕労災病院との連携に関する懇話会	7/16:4名
県央地区認知症担当医ネットワーク講演会	8/5:4名
消費生活サポーターによる啓発講座	8/19:1名
新潟県介護支援専門員協会研修会	8/27:1名、1/31:1名
燕市認知症支援セミナー	8/30:1名
介護支援専門員更新研修	9/12(～4日間):1名
栄養・嚥下ケアマネジメントミーティング	9/17:1名、12/3:1名
高齢者福祉相談担当職員研修会	9/24:1名、11/5:2名
吉田県立病院地域連携会議	10/8:4名
居宅介護支援事業所集団指導	10/30:1名
認知症ライフサポート研修	11/17:2名
男女共同参画講座「地域セミナーinつばめ」	12/9:1名
認知症ケア研修会	12/22:2名
新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修	2/3～4:1名
介護報酬改定に係る事業者説明会	3/12:2名
吉田地区地域ケア会議	3/25:1名

(4) 燕市の依頼を受け介護認定調査を行った。

【給付管理件数】

区分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
介護認定調査	5	0.4	20	1.7

■訪問介護事業

本所のほか吉田支所・分水支所を出張所とし、年中無休の午前7時から午後9時までをサービス提供時間とする体制の中で、円滑なサービス提供に努めた。また、月1回、定例会を開催し、情報共有しサービス内容の向上に努めた。

(1)訪問介護事業

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	101	10,358	93	13,050

(2)介護予防訪問介護事業

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	35	2,211	28	2,268

■訪問入浴介護事業

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	20	967	21	980

■障がい福祉サービス事業

(1)居宅介護事業

障がい者に対するホームヘルプサービスを提供した。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	57	5,772	48	5,842

(2)同行援護事業

移動に著しい困難を有する視覚障がい者等の外出に同行し、必要な情報の提供、移動の援護を行った。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	7	247	6	268

(3)移動支援事業

障がい者等の状態に合わせ、不安なく外出や移動ができるよう支援した。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	36	732	27	691

(4)身体障がい者訪問入浴介護事業

燕市受託事業として、入浴困難な身体障がい者(児)に対し、看護師1名介護員2名の体制で移動入浴車による訪問入浴サービスを提供した。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	3	113	3	113

■軽度生活支援事業

燕市受託事業として、65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯の方に対しホームヘルプサービスを提供した。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	5	228	6	276

■在宅生活支援ホームヘルパー派遣事業

燕市内に居住し身内や親族等の支援が得られない方に対しホームヘルプサービスを実施した。

区分	H26		前年度	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	6	196	4	90

- ・研修会に積極的に参加し、訪問介護員の質の確保・向上に努めた。

ウィルアシストセミナー	5/15:8名、6/20:5名、9/5:2名、12/20:2名
燕市介護保険サービス事業者連絡協議会分科会	6/9:2名、8/25:2名、10/27:2名、12/15:2名、2/23:2名
苦情対応能力向上研修	6/11:1名
現任ホームヘルパー研修	6/21:1名、8/26:3名、9/20:4名、12/13:2名
分水包括定例事例検討会	7/9:1名、9/10:1名、11/13:1名、1/14:1名
リフトを活用した介助について	7/10:6名
消費生活サポーターによる啓発講座	8/19:1名
平成26年度同行援護従事者研修会	9/3(～4日間):1名、9/13(～4日間):1名
サービス提供責任者研修	9/10(～3日間):1名
吉田県立病院地域連携会議	10/8:4名
キャリアアップ支援研修	10/14(～3日間):2名
キャラバンメイト養成研修	10/15:1名
訪問介護事業所集団指導	10/22:1名
スキルアップ研修	10/25:2名
介護技術研修	11/8:3名
地域口腔ケア研修会	11/20:4名
強度行動障害支援者養成研修	11/28～29:1名
介護報酬改定に係る事業者説明会	3/12:1名

- ・利用者、家族からの緊急な訪問要請に迅速に対応した。

区 分	H26		前年度	
	件数	月平均	件数	月平均
訪問介護	46	3.8	35	2.9
障がい福祉サービス	13	1.0	10	0.8

## 8. 災害支援

### ■協力体制整備

#### (1)災害支援等体制の整備

地域の関係機関を対象としたネットワーク会議に職員が出席し、日頃からのつながりと災害時への協力体制整備を目指した。

ネットワーク会議(燕三条青年会議所主催)	4/28:1名、7/22:1名、9/4:1名
災害ボランティア関係団体情報交換会(新潟県災害ボランティア調整会議他主催)	7/14:1名
新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会	2/12:2名
災害支援コーディネーター養成研修企画会議(新潟県災害ボランティア調整会議主催)	9/29:1名、10/9:1名、10/20:1名
災害支援コーディネーター養成研修(同主催:1/20～初級コース、2/17～中級コース)	1/20・21:1名、2/17・18:1名